

工事番号 第 ー 号

磐城第2保育所照明器具 LED 化工事

現場説明書



葛城市 こども未来創造部 こども未来課

第1章 概 要

1. 工事番号 第 ー 号

2. 工 事 名 磐城第2保育所照明器具LED化工事

3. 工事場所 葛城市 八川 地内

4. 工事概要 電気設備工事
・電灯設備工事 一式

5. 建物概要 敷地面積 : 4858.37 m² 建築面積 : 1416.16 m²、
延べ面積 : 2203.49 m² 高さ : 12.90m、
主要用途 : 保育所
構造・規模 : 鉄骨造、地上2階

6. 竣工期日 契約日から令和9年2月26日まで

7. 部分竣工の有無 ☒ 有 ・ 無

8. 部分使用の有無 ☒ 有 ・ 無

9. 担当部署

住 所 (葛城市長尾 85 番地)

担当部署 (葛城市 こども未来創造部 こども未来課)

連絡先 (TEL : 0745-44-5107、FAX : 0745-48-3200)

第2章 特記事項

1. 総論

本工事の建設工事請負契約書、質問回答書、現場説明書、特記仕様書、図面及び標準仕様書を十分に理解し、関連法規・条例等を遵守して、安全に着手・竣工してください。

2. 適用範囲

施工条件は、＊印および○印のついたものを適用します。

3. 施工条件

(1) 一般事項

- ＊ 本工事の施工は、監督員の指示した書類を作成し承諾を受けたうえで着手してください。
- ＊ 原則として、工事着手前に本工事の全ての下請け業者について、書類により監督員に届出てください。
- ＊ 工事関係官公署その他関係機関への必要な届出手続き等は全て受注者が行ってください。手続きに必要な費用は受注者の負担とします。
- ＊ 提出する書類は次の様式を使用し工程管理を行ってください。
 - 公共建築工事標準書式（国土交通省官庁営繕部）
 - 建築及び設備工事監督・検査事務処理様式集(奈良県県土マネジメント部)
- ＊ 建設工事公衆災害防止対策要綱建築工事編及び建築工事安全施工技術指針（国土交通省官庁営繕部）を遵守し、工事を行ってください。
- ＊ 本工事に示す内容その他に疑義が生じた場合は、入札前においては質疑によるものとし、受注者決定後においては監督員と充分協議のうえ、その指示に従い施工するものとします。また、現場の納まり、取合い、明示なき事項及び設計図書と現場の不一致等で生じた変更については、監督員の指示によるものとします。

(2) 施工日・施工時間

- 施工時間は８時００分から１７時００分までとします。ただし、あらかじめ監督職員の承諾を受けた場合は、この限りではありません。
- 本工事は施設を使用しながらの工事となります。騒音・振動・粉塵に配慮して施工を行ってください。また施設運営に支障がないよう、監督員と協議の上施工日・施工時間を決定してください。
- 施工日は原則土日祝として下さい。ただし、監督職員との協議により工程の承諾を受けた場合は、この限りではありません。
- 施設利用者の動線と工事関係者の動線が重複する箇所があります。搬入・搬出の時期や時間については、あらかじめ監督職員と協議を行ってください。
 - ・ 工事開始指定日は、令和○年○月○日とします。ただし、契約日より工事開始指定日まで期間は、現場調査及び書類作成などの準備作業は行うことができます。

(3) 環境対策

- * 本工事は騒音・振動・粉塵に配慮して施工を行ってください。
- * 建設資材のリサイクル、再生資材や建設副産物の有効利用の推進、環境負荷の少ない型枠の利用推進等に努めてください。
- * 「国等による環境物品等の推進等に関する法律（グリーン購入法）」に基づき、環境物品の使用に努めてください。
- * 「排出ガス対策型建設機械指定要領」（建設省経機発第 249 号）「低騒音型・低振動型建設機械の指定に関する規程」（国土交通省告示第 487 号）に基づき指定された建設機械の使用に努めてください。
- * 騒音・振動・排水等は、奈良県環境保全関係条例・その他の規程に従って十分な養生及び防止対策を講じてください。万一、第三者に損害等が生じた場合は、受注者にて処理、解決してください。なお、これらに要する費用は、受注者の負担とします。

(4) 特定建設資材の再資源化

- * 建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律(以下「建設リサイクル法」という。)に定める特定建設資材(コンクリート、コンクリート及び鉄から成る建設資材、木材及びアスファルト・コンクリート)については、適正に再資源化処理をしてください。
- * 本工事において発生する廃棄物については、建設リサイクル法、廃棄物の処理及び清掃に関する法律等関係法令を遵守し、適正に処理してください。
- * 建設リサイクル法第 9 条を遵守し、同法施行規則第 2 条に定める「分別解体等に係る施工方法に関する基準」により適切な施工をしてください。
- * 本工事において発生した特定建設資材廃棄物については、県内の再資源化処理施設において処理するよう努めてください。
- * その他
 - ① 再資源化施設の選定に当たっては、廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づく許可を受けた処理施設とし、許可内容・有効期限等を確認のうえ事前に監督員の承諾を受けてください。
 - ② 自ら搬出する場合は産業廃棄物運搬車の表示板等を掲げ明示してください。また、運搬を委託する場合は産業廃棄物収集運搬業の許可を受けた業者とし、事前に監督員の承諾を受けてください。
 - ③ 産業廃棄物管理票(マニフェスト)は、廃棄物の処理及び清掃に関する法律を遵守し厳正に管理してください。
 - ④ 特定建設資材搬出の際は運搬車両の過積載防止の徹底を図ってください。

(5) 市内業者・市内産建設資材の活用

- * 下請契約を締結する場合には、当該契約の相手を「市内に主たる営業所」を有するものの中から選定するよう努めてください。
- * 地場産業の活性化を図るため、建設資材・物品等調達については県内及び市内産品の使用

をより一層努めてください。

(6) 安全対策

- * 工事期間中、付近の構築物・道路・地下埋設物等に損傷を与えないよう万全の処置を行ってください。万一破損を生じた場合は、原形に復してください。
- * 工事着手前に警察、その他関係機関、地元自治会、及び監督などと十分打合せのうえ、安全管理を行ってください。
- 工事箇所は園児の送り迎えの車が多いため、安全等については、十分留意してください。特に資材の搬入・搬出の経路及び時間帯等については施設管理者と十分協議してください。資材置き場等は場内、工事ヤードに確保するものとし、監督員と協議を行ってください。
- ・ 本工事の交通誘導員は、工事期間中延べ〇人とします。
(交通誘導員 A 〇名、交通誘導員 B 〇名)
- ・ 交通誘導員の配置場所については、設計図(図番)のとおりとします。
- ・ 配置計画及び実施状況については、交通誘導員配置報告を監督員に提出してください。
- 安全等については、十分留意してください。(特に、資材の搬入・搬出については施設管理者と十分協議してください)

(7) 工事用道路・車両

- * 工事期間中道路面には、一切車両を駐車しないようにすると共に工事関係車の出入りには必ず誘導員を立て交通渋滞や一般県民などへの災害に留意してください。
- * 工事関係車両のタイヤ等で場内土を持ち出し、道路等を汚さないでください。また、汚した場合には、速やかに清掃を行ってください。
- * ダンプトラックの過積載防止対策を行ってください。
- 工事関係車の出入りには必ず誘導員を立て、安全確認を行ってください。
- 本工事敷地内の通路は、工事期間中も施設利用者が通行するため、通行できるように安全に確保してください。

(8) 仮設

- ・ 本工事は指定仮設を含みます。
設計図(図番)によります。
- 工事現場の適切な位置に工事内容を示す表示板を設けてください。表示内容は監督員の確認を受けてください。
- 工事箇所周辺では、工事関係車両は駐車しないでください。周辺の民間駐車場等を利用ください。ただし、市との協議により、施設駐車場の一部を使用できる場合があります。
- その他施設内外に設置する仮設は監督員と協議を行った上で設置してください。
- ・ ○○室の工事に際しては、施設使用者の通行に必要な通路を確保してください。

(9) 建設発生土の処理

- ・ 建設発生土の抑制に努めてください。処理については特記仕様書の該当項目によ

ります。

- ・ 建設発生土の抑制に努めてください。処理については場外処分によります。
- ・ 建設発生土については、敷地内に敷き均しとしてください。

(10) 発生材の処理

- 特記仕様書の該当項目により適正に処理してください。
- ・ ○○については、再利用しますので施設管理者に引き渡してください。
- ・ ○○部分については、有価物として処理することを想定しています。

(11) 建設工事イメージアップ

- 建設工事のイメージアップに努めてください。

(12) 工事用電力・水道等

- 構内既存施設の利用は以下によります。

(イ) 既存電気設備の利用

- ・ 出来ない ○ 出来る (・ 有償 ○ 無償)

(ロ) 既存水道設備の利用

- ・ 出来ない ○ 出来る (・ 有償 ○ 無償)

* 有償の場合は、監督員立会のうえ参考メーターを取り付けてください。

* その他条件()

- ・ 本受電又は開栓後、引き渡しまでの電気料金、水道料金等は受注者の負担とします。
- ・ 本受電後、引き渡しまでの電気主任技術者選任(委託)に係る費用は受注者の負担とします。
- ・ 工事負担金 (- 円)を含みます。

(13) 他工事との関連

- 他工事についての工事工程及び納まり等は、事前に監督員及び関係者と協議のうえ、工事の円滑な進捗を図ってください。
- 本工事は出合丁場となるので、工事工程・納まり等は、事前に関係者と協議のうえ工事の円滑な進捗を図るとともに、安全協議会を設立し災害防止に努めてください。
- ・ 本工事は、予定敷地(施設)において施行中及び施工予定の工事があります。進入路、仮設等関係者と協議のうえ、工事の円滑な進捗を図ってください。

(14) 請負代金額に対する各年度の支払限度割合

- ・ 令和7年度 %
- 令和8年度 100%

(15) 分離発注工事

- 本工事と関連する分離発注工事

建築工事(保育室の床仕上げ更新工事) 工期：令和8年6月中旬～令和8年10月30日(金)

- 工事期間中における工事進入路(敷地内外共)の維持・補修・第三者への対応、工事現場内外の安全、衛生管理及び各受注者間の工程調整を行い、相互の工事が円滑に進捗するように安全協議会を設置し災害防止を図ってください。
- ・ 各受注者間の総合打合せを週１回以上行い、工事内容の連絡・工程調整・施工図面等による確認をして、十分に連絡調整を図ってください。
- 各受注者は、工程表(週間・月間・全工程)を作成して監督員の承諾を受けてください。なお、工程表作成の際は、事前に各工事受注者間で工程を調整してください。
- ・ 各受注者は、協力して敷地外の工事進入路及び工事現場内の清掃を行ってください。

(16) 施工に留意すべき事項

- ・ シーリングにＰＣＢまたはアスベストを含有する可能性がありますので、以下の手順で施工を行ってください。なお、本件にかかる施工の手順については、施工計画書に記載してください。
 - ①既存シーリングが施工されている部材の種類ごとに、ＰＣＢの分析調査(材種判定・ＰＣＢ分析)を行う。
 - ②①の調査において、ＰＣＢを含有すると判定された場合、保護手袋・保護マスク等を着用の上、手ばらしにて撤去し、保管する。
 - ③①の調査において、ＰＣＢを含有しないと判定された場合、①と同様の位置からシーリングを採取し、アスベスト含有調査(定性分析及び定量分析)を行う。
 - ④③の調査において、アスベストを含有すると判定された場合、特記仕様書に従って撤去、処分を行う。
- ・ 外壁の仕上塗材及び下地調整材にはアスベストが含有されており、仕上塗材及び下地調整材の除去については設計図(図番 記載)の工法を想定しています。なお、上記工法の使用が困難な開口部及び出入隅にあつては、集塵装置併用手工具ケレン工法による除去を見込んでいます。
- ・ 石綿障害予防規則に基づき、アスベストを含有する建築物、工作物の解体・改修工事を行う場合は、作業の実施状況を写真等により記録し、保存してください。
- ・ アスベストを含有する建材の除去等の作業を行う場合、関係法令に則り適正な措置を講じてください。なお、スレート屋根については、アスベスト含有を見込んでいます。

(17) 現場代理人の常駐を要しない期間

- 以下のいずれかに該当し、かつ、発注者との連絡体制が確保されると発注者が認めた場合においては、現場代理人の常駐を要しない。
 - ①契約締結後、現場事務所の設置、資機材の搬入又は仮設工事等が開始されるまでの期間
 - ②建設工事請負契約書第２０条第１項又は第２項の規定により、工事の全部の施工を一時的に中止している期間
 - ③昇降機(部品含む)の工場製作のみが行われている期間(昇降機工事に限る)
 - ④上記のほか、工事現場において作業等が行われていない期間
- なお、当該期間については監督員と協議を行って定めることとする。

(18) その他

○ 工事目的物及び工事材料等を火災保険、その他保険に付してください。

○ 保険の付保及び事故の補償

本工事において、受注者は法定外の労災保険（以下※参照）に付さなければなりません。
また、保険契約締結後は契約書に基づき、その証券等を発注者に提示してください。なお、法定外の労災保険にかかる保険料等の費用は現場管理費率の中に計上されています。

※法定外の労災保険：従事する者の業務上の負傷等に対する補償のための保険で、国の労働災害補償保険(労災保険)とは別に上乗せ給付等を行うことを目的とした保険

○ 設計変更が生じた場合で、請負代金額に変更が生じる場合の変更請負代金額は、当初予定価格を含む設計変更価格に、当初予定価格から請負代金額となったいわゆる請負率を乗じて得た額とします。

○ 施工計画書の提出において、「施工計画書現場組織表」を提出してください。

- ・ 本工事の契約は葛城市議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例（平成16年葛城市条例第43号）第2条に規定する契約に該当するため、市議会の議決があるまでは仮契約とし、市議会の議決があったときに本工事の契約を締結したものとします。
- ・ 足場は、「「手すり先行工法に関するガイドライン」について」（厚生労働省基発第0424001号）の「手すり先行工法に関するガイドライン」により、「働きやすい」安心感のある足場に関する基準」に適合する手すり、中さん及び幅木の機能を有する足場とし、足場の組み立て、解体又は変更の作業は、「手すり先行工法による足場の組み立て基準」の2の(2)手すり据え置き方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行うこととします。
- ・ 墜落制止用器具は、「墜落制止用器具の安全な使用に関するガイドライン(厚生労働省基発第0622第2号)」により、6.75mを超える箇所での作業についてはフルハーネス型を使用することとします。